



平成29年度市民大学テーマ講座 受講者募集

ブランド化の取組の多くはいかにその目標を達成するかに関心が集中し、すでに一定程度ブランド確立に成功した商品がさらに進化するために何が必要か、という観点からの検討はあまりされていない。そこで、下関を代表する下関フグと垢田トマトの事例を念頭に、その課題を論議、展望し、下関フグ及び垢田トマトに関する個別課題を整理するとともに、確立されたブランドの共通課題を明らかにし、進化ブランドのあり方を検討する。

確立された地域ブランドの



進化に関する諸課題

—下関フグと垢田トマトを事例に—

●登壇者（五十音順）

江本 秀昭（垢田施設部会 部会長）

白武 義治（佐賀大学農学部 教授）

中溝 れい（株式会社みなと山口合同新聞社 記者）

柳川 善弘（元株式会社九葉 特産事業部 動産資材部 部長）

横山 博司（下関市立大学 教授）

●コーディネーター

濱田 英嗣（下関市立大学附属地域共創センター長）

2017年11月11日(土)

13:30~15:45

◆場所：下関市立大学本館2階 I - 206教室

◆定員 100名程度

◆申込 氏名・年齢・住所・電話番号・所属を記入の上、ハガキ・郵送・FAXまたはEメールにて
11/9（木）までにお申込み下さい。

資料の準備がございますのでなるべく事前の申込をお願いします。

◆備考 駐車場に限りがございますのでなるべく公共の交通機関でご来学下さい。

【お申込み&お問い合わせ】

下関市立大学附属地域共創センター chiikikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp

〒751-8510 下関市大学町二丁目1番1号 TEL：083-254-8613

FAX：083-253-1622

無料



公立大学法人
下関市立大学
Shimonoseki City University